平成28年度第2回富里市総合教育会議議事録

日 時 平成28年10月26日（水）
午前10時00分～午前10時40分
場 所 すこやかセンター2階会議室1

1 開 会

（総務部長）

定刻となりましたので、これより平成28年度第2回富里市総合教育会議を開催いたします。

本日の会議は、お手元に配布させていただきました会議次第に沿って進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

始めに、市長よりごあいさつをいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

2 あいさつ

（市長）

本日は、平成28年度第2回目の総合教育会議ということでお集まりいただき、ありがとうございます。

また、教育委員の皆様方におかれましては、日頃より本市の教育について、しっかりと取り組んでいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

特に、洗心小学校の富里南小学校への統合につきましては、順調に進めていただいていることと思います。

こう申し上げますのも、先日、洗心小学校の比較的若い父兄の方から、子供が南小学校に通うことを楽しみにしていると声をかけていただきました。洗心小学区の父兄からこういった意見をいただけることは、教育委員の皆様にご尽力いただいている結果であると思います。

これからも、本市の教育の振興にご尽力いただきますようお願いいたします。

今後、高齢化の進行への対応としまして、多くの予算を投じる必要もごさいますが、この日本や本市の未来の担い手である子供たちへの教育が非常に重要であると思っておりますことから、これからもよろしく願いいたします。

（総務部長）

ありがとうございました。

続きまして、國本教育長よりごあいさつをいただきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

(教育委員会教育長)

本日は、第2回目の総合教育会議を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

今回の会議は、10月より新教育委員会制度に移行し最初の会議となります。席次が変わることになりましたが、引き続き市長部局と教育委員会が両輪となって、富里市の教育振興に努めていくことに変わりはないと思います。

今後も共通認識、共通理解の下に進めてまいりたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。

(総務部長)

ありがとうございました。

それでは、議事の進行につきましては、会議の主催者であります市長にお願いいたします。

3 協議事項

(市長)

それでは、協議事項に入ります。

協議事項(1)英語教育の推進について、御説明をお願いいたします。

(健康福祉部長)

それでは、私から「英語で遊ぼう！」につきまして、御説明させていただきます。

この事業につきましては、地方創生加速化交付金を活用した事業でございます。本年5月から実施し、多くの方に御参加いただき、大変好評を得ているところでございます。

事業の目的でございますが、幼少期から英語に親しむ機会を提供し、英語教育が盛んな地域特性を創造していくということで、英語教育の盛んなまちづくりを目指しております。

なお、本事業の取組内容につきまして、本日は実際の映像を用意しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

まず、お配りさせていただきました資料に基づいて御説明申し上げます。

事業内容、事業期間でございますが、1年間を3期に分け実施しております。参考までに1期、2期、また、これから開催されます3期のパンフレットを御用意させていただいております。

「英語であそぼう！」は、葉山保育園内にございます子育て支援センターを拠点にし、歌や踊り、ゲームなどを通じ、英語に親しんでいただくという事業

でございます。先ほども申し上げましたとおり、事業期間につきましては、本年5月から来年3月までのほぼ通年で実施してまいります。

事業の詳細ですが、まず、子供向けプログラムといたしまして、レベルの異なる三つのクラスを基本的に毎週土曜日に実施し、幅広い年齢層の子供が参加できるようにしております。こちらにつきましては、5月7日を初回とし全48回実施する予定でございます。現在まで27回実施しております、延べ1,197名の参加をいただいております。また、クラスによっては、お申し込みをお断りするような状況でございます。

それでは、資料1を御覧ください。資料1は、5月から8月まで実施した第1期の内容です。各回にAとBの日程を組み、より多くの方が参加できるように設定しております。資料の2枚目は、現在実施中の第2期の内容を、また、3枚目には、12月から実施する第3期の内容としております。

今後も事業を継続していくことができますよう、職員向けプログラムと地域住民向けプログラムを実施しております。職員向けプログラムにつきましては、5月16日から7名が参加、また、地域住民向けプログラムにつきましては、7月16日から4名、ただし、途中において1名が不参加となりまして、現在は3名の方が参加しております。今後、職員はそれぞれの職場で、地域の方につきましては、来年度実施のプログラムにおいてお手伝いをさせていただく予定で考えさせていただいております。

また、子供向けプログラムにつきましては、今後、第3期がございますので、引き続き充実していくことができるよう努めてまいります。

それでは、実際の映像がございますので、御覧いただき、雰囲気を感じていただければと思います。

映像の1番目は、子供向けプログラム。2番目に、保育士・幼稚園教諭向けプログラム。最後になりますが、3番目といたしまして、地域住民向けプログラムとなります。

- ・子供向けプログラムのレッスン風景動画の再生
- ・保育士、幼稚園教諭向けプログラムの講習会風景動画の再生
- ・地域住民向けプログラムの講習会風景動画の再生

(健康福祉部子ども課長)

以上で映像は終了となります。

ただいま御覧いただきましたとおり、当事業の実施状況といたしましては、子供たちは楽しんで英語を学んでおります。また、保育士、幼稚園教諭や地域住民の方たちも熱心に指導者用プログラムに参加していただいております。

(市長)

以上となりますが、御質問等ございますか。

(教育委員会教育長)

活気あるレッスン風景であり、素晴らしい事業であると感じました。

また、子供たちのそれぞれの成長段階に合わせた英語教育を進めているということで、学校においても取り組んでいるところであり、保育園や幼稚園から学校へと一連の取組として非常に効果的であるものと感じます。

本年度におきまして、保育士や幼稚園教諭、また、地域の住民の方々を対象とするプログラムを実施しているという中で、本事業の来年度以降の展開についてお聞かせいただけますでしょうか。

(健康福祉部子ども課長)

本事業は、先ほど映像にて御紹介させていただきましたとおり、職員と地域住民を対象とし、講師となるためのプログラムとして子供たちへのレッスンと並行して実施しているところでございます。

地域住民向けプログラムにつきましては、子育て支援センターで実施しております。来年度以降は、仮称向台こども園に開設予定の支援センターや現在建設中のこども館にて実施する子供向けプログラムのレッスンにおいて、講師又は講師のアシスタントとして参加していただく予定です。

また、保育園、幼稚園の先生につきましては、来年度以降の認定こども園や幼稚園における英語教育として取り入れていくことといたします。

(市長)

私が公約として掲げている、英語教育の推進について少し触れさせていただきます。

この公約を掲げるきっかけは、ニュージーランドに訪問した際に感じたことですが、この国では、マオリ語と英語が使われていて、地域によっては完全に英語のみが使われているようでした。特に、マオリ語は御年輩の方が使い、日常会話としては英語が主流となりつつある中で、中学生などの若者が英語で話している光景を目の当たりにし、これからの国際化社会で必要となる英語について、次代を担う子供たちが話せるようになってほしい、そういった地域をこの富里市につくりたいと思いました。

そこで、日吉台の地域では、非常に多くの方が英語に精通している方がいらっしやったことから、この日吉台で英語による会話が行われることにより、多くの外国人で賑わい、また、日吉台の学校に通えば外国に行ったかのように、英語に親しむことができる街となり、非常に特色ある地域とすることができる考えたからです。ただし、以前、教育長であった方から苦言が呈されたこともあります。それは、英語を不得意とする子供がいじめを受けてしまうことも

考えられるとのことで、私も、こういった指摘もありましたことから、この取組を強力に進めることはございません。

また、私自身が英語を話すことができません。やはり、英語を浸透させるためには、推し進める者が英語を話せなければいけないと感じています。

では、皆様から何かありますか。

(教育委員会教育長)

それでは、英語教育の推進につきまして、教育委員会からも発言させていただきます。

資料２－１を御覧ください。

ただいま、市長の御発言にもございましたが、まず、平１５年に相川堅治市長が就任され、公約の一つに英語教育の推進が掲げられました。

そこで、学校教育における取組としまして、初めて小学校の段階での英語教育を行うこととしたものでございます。

七栄小学校を先行的に研究指定校とし、平成１６年度から平成１８年度の３か年の期間で指定いたしました。

具体的には、アとしまして、専任ALTを配置しました。イとしまして、富里版小学校英語教育の研究を実施。ウとしまして、平成１８年度に公開研究会を実施し、特に市内の先生方に勉強していただくといった内容で実施いたしました。

この成果につきましては、他市町の先行事例を研究し、富里版の小学校英語活動の指導資料を作り上げることができたということでございます。

次に学習指導要領関係を説明させていただきます。

小学校英語活動は、平成２１年度から、５学年、６学年において移行実施するようになりました。全国的な動きで申し上げますと、平成２３年度に新教育課程が完全実施となり、一斉に外国語活動を実施することとなりました。また、学習指導要領では、５学年、６学年を対象としている外国語活動について、本市では１学年より実施しています。なお、今後改定される、新学習指導要領では、平成３２年度からは、３学年、４学年より全面実施となりますが、本市においては既に実施しているといった状況でございます。

市長の公約によりまして、小学校の英語活動が支障なく行えていることに感謝しているところでございます。

続きまして、英語教育推進の検証につきましては、今後の大きな課題と考えております。

まず、本市の現状としまして、通称、英検の状況は資料記載の表のとおりでございます。

平成28年度9月末現在の状況として、まとめたものでございます。

文部科学省の目標値としては、3級以上の合格者を生徒数の50%以上とするものですが、本市の合格者は中学生全体で25人、割合で申し上げますと1.95%、約2%という状況にあります。

今後、本市においては、受験者と合格者をどのように増やすかが課題であると考えております。この英検は、受験料を必要とするものですので、この受験料が本市の合格者数を抑えてしまっている要因の一つと考えております。つきましては、受験料を市が全額負担する、あるいは、一部補助するなどの策が考えられます。

資料2-2を御覧いただきますと、印旛管内でも英検受験に対する助成を3市町で実施している状況でございます。今後、教育委員会として何らかの助成が必要であると考えています。資料2-1に戻っていただきまして、英検合格者数の表を御覧いただきますと、この資料の作成時の試算では市が全額負担すると、1,111,600円となります。本市の英検合格者の割合が、文部科学省の定める目標値を大きく下回る状況でございますので、受験者を増やし、合格者を増やすための取組を検討する必要があるものでございます。

こちらにつきましては、委員のほうからも意見があるとのことですので。

よろしく申し上げます。

(教育委員会委員)

高校受験では、英検3級以上を取得していると有利になると聞いたことがあります。こういったことから、補助金による支援によって、より多くの生徒に受験や再受験を促すことができ、チャレンジすることから学力の向上につながるものと考えます。私の家庭の話となりますが、私の子供が3級に合格したことにより自信をつけたことから、良い効果が得られるものと思っております。また、英語を得意とする生徒にとっては、上級になるにつれて受験料が増加することから、金銭的な支援により挑戦しようとする意欲をかき立てられるものとも思われ、こういった取組から本市の全体的な英語能力のレベルアップにつながるものと思いますので、よろしく申し上げます。

(市長)

検討してみます。ただし、特定の個人に帰属する資格となりますので、全額補助は難しいと考えますことから、一定の補助として検討してみます。

ほかに御意見等ございますか。

(出席者一同 (教育委員会))

意見等なし。

(市長)

続きまして、協議事項(2)とみさと教育推進の視点についてとさせていただきます。説明は、教育長よりお願いします。

(教育委員会教育長)

それでは、私より説明させていただきます。

資料3を御覧願います。

富里市教育委員会はこの10月から新教育委員会制度に移行しました。新制度における今後のとみさと教育の推進を図るため、イメージとして作成したものでございます。

まず、とみさと教育推進の視点として、つなぐ教育の充実を掲げました。教育を取り巻く環境には、学校その他の教育施設、家庭、地域社会があります。そこには、教育委員会が関わる学校教育、家庭教育、今は、生涯学習として置き換えられております社会教育があります。それぞれを充実させる考え方として、次の3点を重視していきたいと考えています。

一つ目は、学びをつなぐとしております。これは、学校と学校をつなぐことで、既に平成26年度よりジョイント・スクール推進事業として取り組んでいます。教育機能と教育機能をつなぐとは、学校と図書館などをつないだ事業を行うことで、一部実施していますが、まだまだ十分ではないものと考えます。市長部局にも教育機能がありますので、教育委員会との更なる連携ができるものと考えています。

二つ目は、人をつなぐでございます。こちらは、学校と地域をつなぐことは、すでに地域の先生として授業での活用を図っています。学習者と指導者をつなぐことについては、指導者となることについての登録制度がありながら十分に活用されていない状況であると思っておりますので、更に生涯学習において活用を図るなどの工夫が必要と考えています。

最後、三つ目につきましては、文化をつなぐとしています。富里市の文化や歴史を若い人にきちんと伝え受け継いでいくことです。さらに、事業の充実が必要と考えています。また、富里と世界をつなぐことについては、国際化の時代であるといったことに加え、成田空港に隣接しているという地の利から更に必要なことと考えています。

以上のような考え方に立ちまして、今後、教育委員会においては現在実施している様々な事業を見直し、充実を図ってまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

(市長)

ありがとうございます。

御意見等ございますか。

(出席者一同 (教育委員会))

意見等なし。

(市長)

それでは、本日の協議事項は以上となりますので、これにて協議を終了し、進行を事務局にお返しします。

4 その他

(総務部長)

ありがとうございました。

次に、会議次第4その他でございますが、何かございましたらお願いいたします。

(出席者一同)

発言等なし。

5 閉会

(総務部長)

それでは、以上をもちまして平成28年度第2回富里市総合教育会議を閉会させていただきます。

長時間に渡りまして、ありがとうございました。